

<講 座>

家 屋 内 の 甲 虫

中 根 猛 彦*

Beetles Found in Houses and Buildings

Takehiko NAKANE*

上記の題名で小甲虫の見分け方をと原稿の依頼があったのは昨秋のことで、気軽にお引受けしたのだが、考えてみると現在は図鑑もいろいろあるし、家屋害虫や貯蔵穀類の甲虫についても解説が再三なされている。それに家屋内といっても常時発見されるものの他に一時的に侵入してくるものが多数にある。これらも含めるとなると到底短期間にまとめられる量ではない。かと云って今までの解説と変わらないのでは面白くないだろう。書きかけてはみたものの期限には間に合わず、今春まで延ばしていただいたが、またもや危なくなってきた。致し方ないので、頗る中途半端なものであるが、一応責任を果ささせていただくことにした。

家屋内の虫というと、まず思い浮べるのはゴキブリ、ダニ、それにカ、ハエなどで、甲虫は出てこない。森や山野に近い処なら夏にはコガネムシ、カブトムシ、クワガタムシなどが灯火に飛んでくるが、これらはたまたまやってくるお客のようなもので無害のせいもあり屋内の虫に数えて貰えないのが普通である。甲虫の名が出てこないのは屋内に一時的にでも住みつくような種類はほとんどが小形な地味な連中で、実体顕微鏡でもない種が判定し難い微小なものが少なくないためであろう。しかし甲虫は日本国内だけでも1万を超える種数があり、家屋内に入りこむ可能性のあるものも多数あるのである。

家屋内の甲虫として古くから注目されてきたのは貯蔵食品、皮革製品、家具建材などの害虫で、特に貯穀類につく甲虫についてはよく調べられて

いる。それらの解説書も出版されており、近年発行された甲虫図鑑にもかなり詳しく紹介されているから、種名を調べるにはあまり不便を感じられなくなっている。ただ屋内で甲虫を見つけた時にそれが屋内に住みついているものかどうかは判定が難しい場合もあるに違いない。

実際に家屋内で見つけた甲虫が何であるかを調べたい時にはまず図鑑や図説で似たものを探すのが安直な方法である。もしも該当するものが見つからなかったり、はっきり断定できない時には検索（もしあれば）をひいて所属を確かめることになる。しかしこの検索表を使うのはなかなか厄介で終点に辿りつくまでには選択に迷うこともあり必ずしも容易ではない。そこで簡便法としては体のいくつかの部分を選び、それらを比較するだけで類や種を特定することができる手段がある。時には1ヶ所の特徴だけで類が判ることもある。体形だけで識別可能なことも当然あるが、たとえば単眼が1個あるのはカツオブシムシ（*Dermestes* を除く）であるし、2個あるのはハネカクシのうちのヨツメハネカクシ（*Omaliniinae*）に限られる。

ここでは体のうちで前部、特に触角に注目して家屋内に現われ、またはその可能性の高い甲虫を列記し、図を示してみることになしたい。どの位これで類を識別できるかためていただけると幸いである。夜間電燈に誘われて家屋内に飛来するような類は科名（時には属名）のあとに○印を付し、また害虫とされているようなものについては必要に応じ簡単な説明を加えておいた。

図は各図に属名、時に種名、を入れておき、各科の初めに科名を大文字で入れておいた。全形、

* 〒262 千葉市花見川区朝日ヶ丘町3273
にれの木台2-19-502

前体部、触角の図には記号は入れなかったが、小腮枝 (maxillary palpus) には mxp, 頭には h, 前胸背には prn, 前肢には fl, 後肢には hl, 跗節には ts, 爪には cl の記号をつけた。大きさは概略しか示してないので図鑑等を参照していただきたい。都合で和名は省略した。

始原亜目 Archostemata (・ナガヒラタムシ主科 Cupedoidea) 跗節 5-5-5。

ナガヒラタムシ科[°] Cupedidae : *Cupes* (*Tenomergera*). *C. japonicus* (9-16mm) は古い木造建築の柱から多数えられた例がある。

チビナガヒラタムシ科 Micromalthidae : *Micromalthus debilis* は (2mm) 松などの腐朽材に発生し、学校給食の配膳台に多数発生したことがある。

食肉亜目 Adephaga (・オサムシ主科 Caraboidea) 跗節 5-5-5。

ハンミョウ科[°] Cicindelidae : *Cicindela*. (10-15mm)

オサムシ科[°] Carabidae : *Calosoma*, *Campalita*. (20-30mm)

カワラゴミムシ科[°] Omophronidae : *Omophron*. (6mm)

ヒョウタンゴミムシ科[°] Scaritidae : *Clivina*, *Dyschirius*. (2.5-9mm)

ゴミムシ科[°] Harpalidae : *Trechus*, *Bembidion*, *Tachys*, *Harpalus*, *Stenolophus*, *Platynus*, *Agonum*, *Chlaenius*, *Odacantha*, *Parena*, *Lebia* など。(2-20mm)

Somotrichus unifasciatus (4mm) は貯穀に発見され国内では琉球で発見されている。海外では *Harpalus*, *Sphodrus*, *Pristonychus*, *Plochionus*, *Zabrus*, *Amara* などが貯穀から記録されている。

コガシラミズムシ科[°] Haliplidae : *Peltodytes*, *Haliplus*. (3-4mm)

ゲンゴロウ科[°] Dytiscidae : *Hyphydrus*, *Lacophilus*, *Rhantus*, *Eretes*, *Hydaticus*, *Cybister* など。(2-35mm)

コツブゲンゴロウ科[°] Noteridae : *Neohydrocoptus* など。(2-3mm)

ミズスマシ科[°] Gyrinidae : *Dineutus*, *Gyrinus*. (5-10mm)

多食亜目 Polyphaga

・ガムシ主科 Hydrophiloidea

ホソガムシ科[°] Hydrochidae : *Hydrochus*. (3mm)

ガムシ科[°] Hydrophilidae : *Cercyon*, *Enochrus*, *Sternolophus*, *Hydrophilus*, *Berosus* など。(2-30mm)

Cercyon, *Megasternum* (2-3mm) など Sphaeridiinae の種は発酵～腐敗物や貯穀から発見されることがある。

マルドロムシ科[°] Georissidae : *Georissus* (1mm 弱)

エンマムシ主科 Histeroidea 跗節 5-5-5

エンマムシ科 Histeridae : *Carcinops*, *Dendrophilus*, *Gnathoncus* など。(2-4mm)

上記の属のうち *C. pumilio*, *D. xavieri*, *G. nanus*, *G. nannetensis* は貯穀類から発見される。最後の種は特に鶏舎に多い。

・ハネカクシ主科 Staphylinidae

シデムシ科[°] Silphidae : *Nicrophorus*, *Necrodes*, *Silpha* (s. l.) . (10-40mm)

ハネカクシ科[°] Staphylinidae : *Oxytelus*, *Bledius*, *Paederus*, *Philonthus*, *Staphylinus*, *Atheta* など多数。(1-25mm)

Paederus fuscipes (6-7mm) は人体に水泡をつくらせるので有名。

Leucoparyphus, *Proteinus*, *Oxytelus*, *Cypha*, *Oligota*, *Atheta*, *Quedius*, *Philonthus*, *Creophilus* などの種が貯穀から記録されている。

アリヅカムシ科[°] Pselaphidae : 属は特定されないが、一部の種が夜間飛来する。(1.5-3mm)

・コガネムシ主科 Scarabaeoidea (Lamellicornia) 跗節 5-5-5

クワガタムシ科[°] Lucanidae : *Lucanus*, *Protopocoilus*, *Macrodercas* など。(10-70mm)

コブスジコガネ科[°] Trogidae : *Trox*. (5-13mm)

センチコガネ科[°] Geotrupidae : *Bolbocerosoma*. (10-15mm)

アツバコガネ科[°] Hybosoridae : *Phaeochrous*.

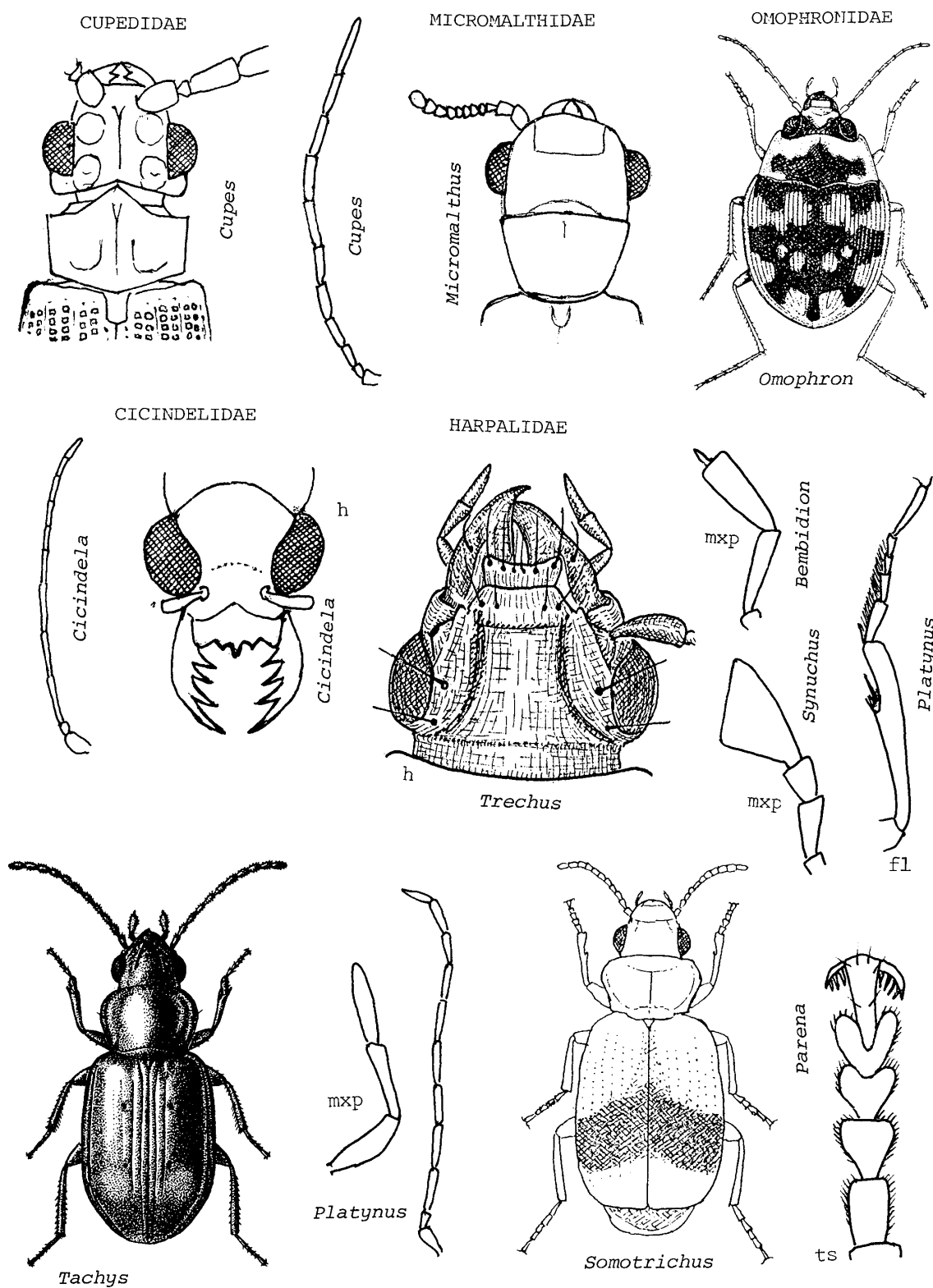


図 1

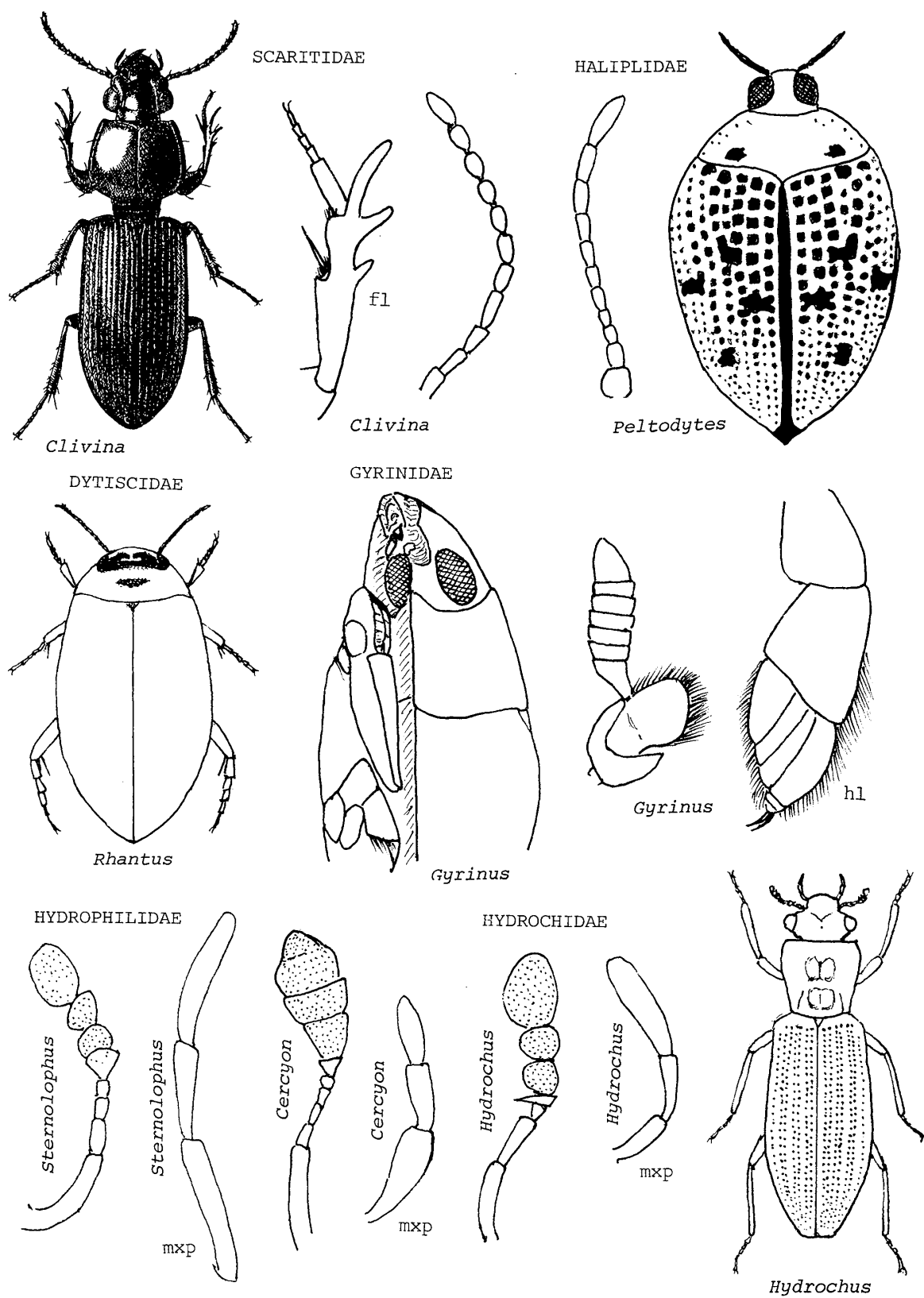
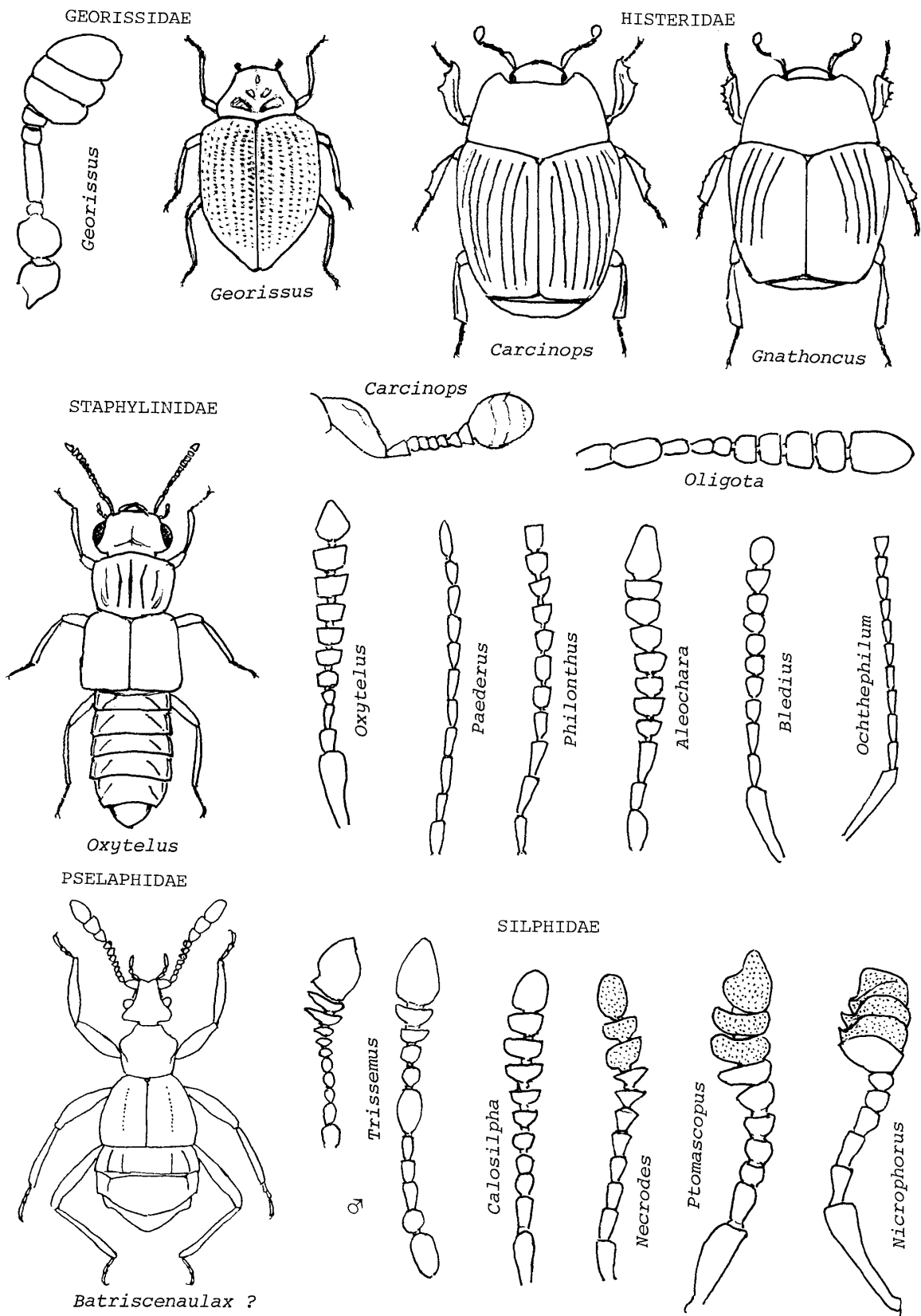


図 2



3

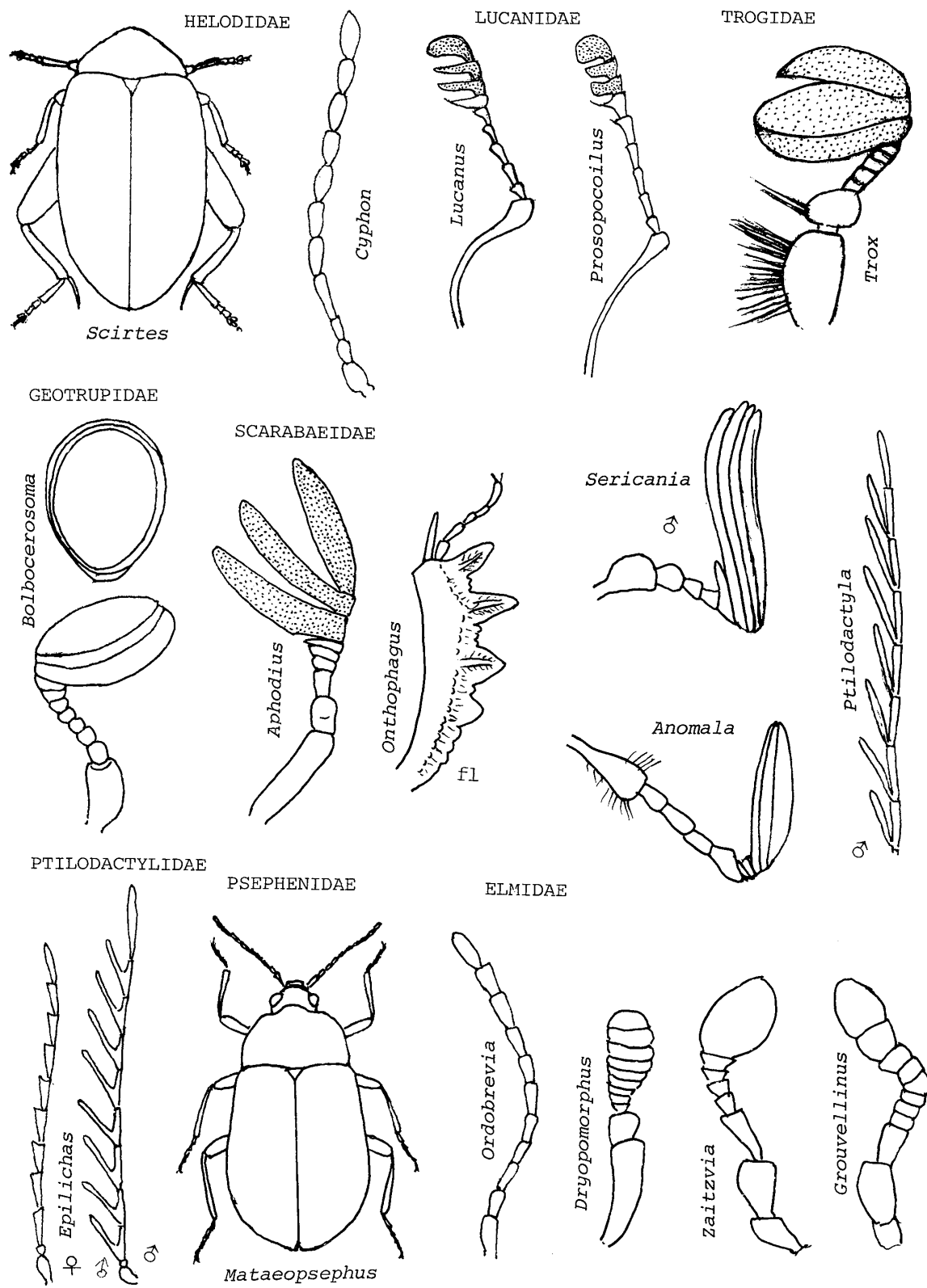


図 4

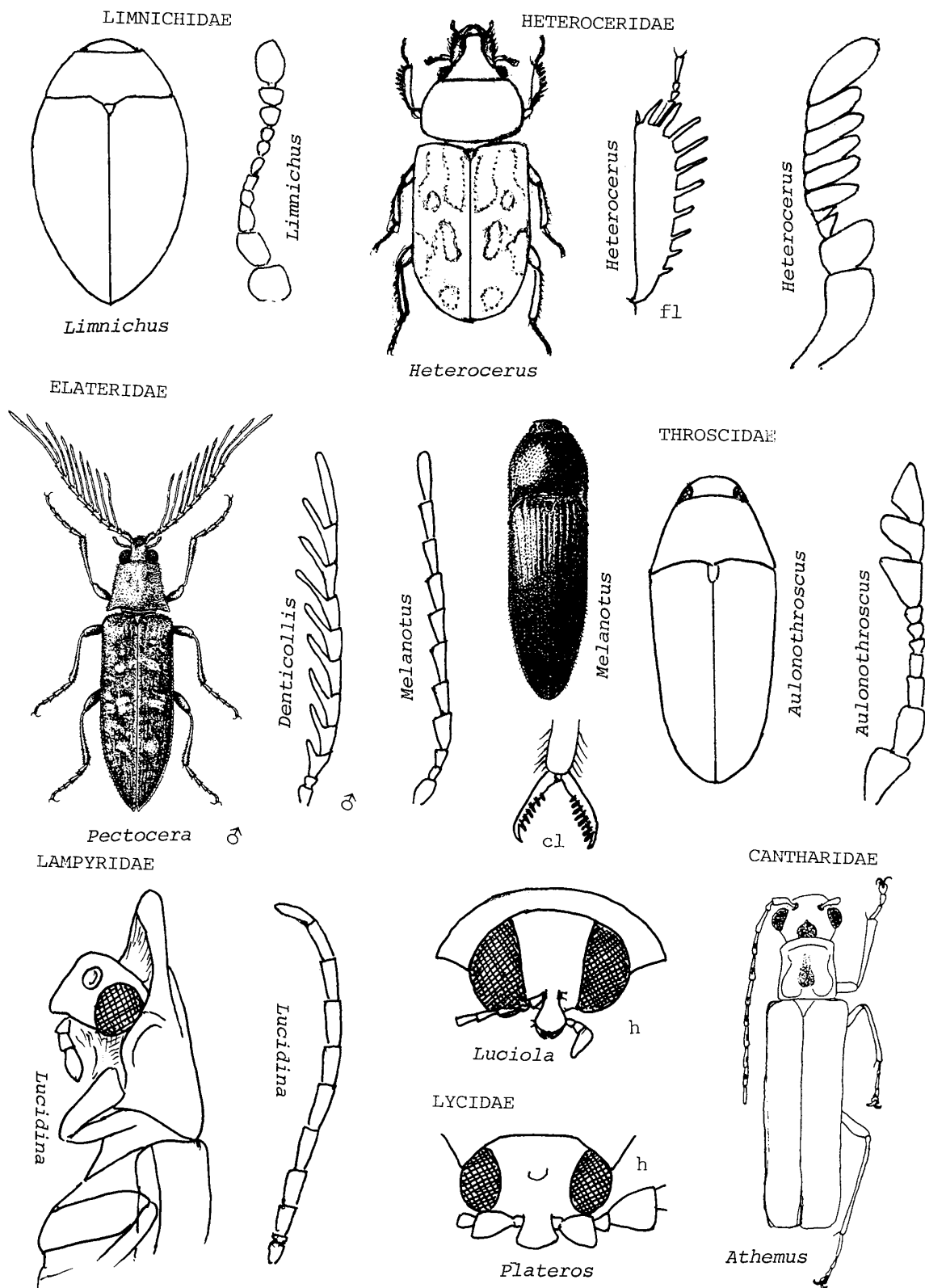


図 5

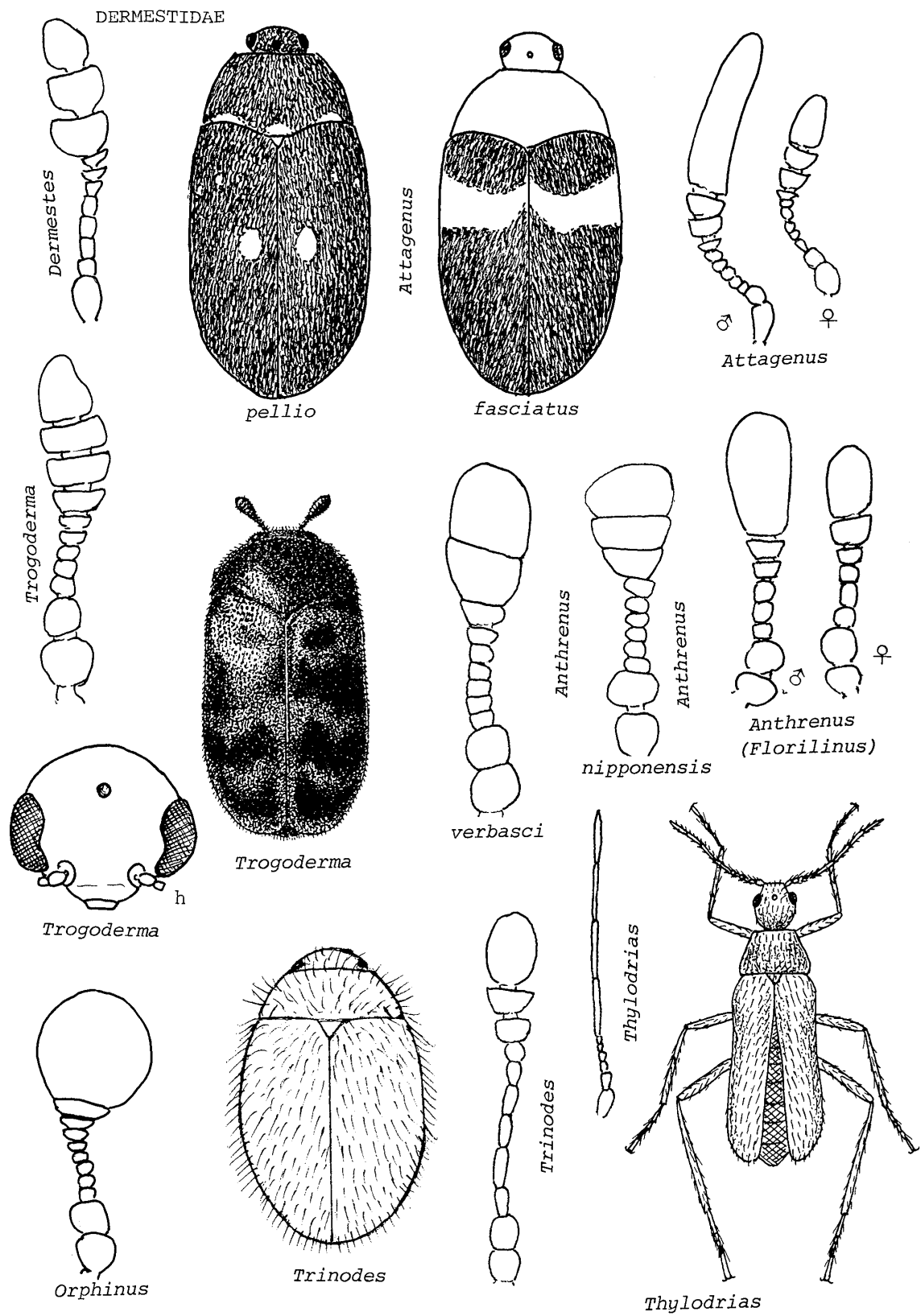


図 6

(7-11mm)

コガネムシ科[°] Scarabaeidae : *Copris*, *Onthophagus*, *Aphodius*, *Serica*, *Melolontha*, *Holotrichia*, *Allomyrina*, *Anomala* など。(2-50mm)

• マルハナノミ主科 Eucinetidea

マルハナノミ科[°] Helodidae (Scirtidae) : *Helodes*, *Cyphon*. (2-5mm)

• ドロムシ主科[°] Dryopoidea

ヒラタドロムシ科[°] Psephenidae : *Psephenoides*, *Mataeopsephus*. (2-10mm)

ナガハナノミ科[°] Ptilodactylidae : *Epilichas*, *Ptilodactyla*. (4-15mm)

ヒメドロムシ科[°] Elmidae : *Stenelmis*, *Ordobrevia*, *Grouvellinus*. (1.5-5mm)

チビドロムシ科[°] Limnichidae : *Limnichus*. (2mm弱)

ナガドロムシ科[°] Heteroceridae : *Heterocerus*. (3-5mm)

• タマムシ主科 Buprestoidea 附節 5-5-5

タマムシ科[°] Buprestidae : *Chrysobothris*, *Buprestis*, *Agrilus*. (4-40mm)

• コメツキムシ主科 Elateroidea 附節 5-5-5

コメツキムシ科[°] Elateridae : *Lacon*, *Agrypnus*, *Pectocera*, *Tetrigus*, *Melanotus*, *Dicronyx* など多数。(2-35mm)

ヒゲブトコメツキ科[°] Trixagidae : *Trixagus*, *Aulonothroscus*. (2-4mm)

• ホタル主科 Cantharoidea 附節 5-5-5

ジョウカイボン科[°] Cantharidae : *Athemus*. (5-15mm)

ホタル科[°] Lampyridae : *Lucidina*, *Luciola*. (5-20mm)

ベニボタル科[°] Lycidae : *Plateros*. (5-10mm)

• カツオブシムシ主科 Dermestoidea 附節 5-5-5

カツオブシムシ科 Dermestidae : *Dermestes*, *Attagenus*, *Anthrenus*, *Trogoderma*, *Trinodes* など。

(1.5-10mm)

Dermestes (6-10mm) は干魚・皮革・剥製・蚕蛹など動物質の害虫 (*ater*, *maculatus*, *haemorrhoidalis*, *coarctatus*, *tessellatocollis*, *vorax*, *lardalius* など) のほか貯穀にも見られる (*frischii*)。 *Attagenus* (3-6mm) は毛織物・毛皮などを害する (*unicolor japonicus*, *pellio*, *fasciatus*)。 *Trogoderma granarium* (2-3mm) は貯穀の害虫として知られ, *T. varium* (2-4mm) は蚕蛹を害するといひ, 他にも貯蔵食品の害虫とされる同属種がある。 *Anthrenus verbasci* (2-3mm) は毛織物・標本の害虫, *A. nipponensis* はスズメの糞などにおり時に屋内で発見される。 *Trinodes rufescens* (2mm) は乾燥動物質を食する。 *Thylodrias contractus* (2mm) は衣類や標本についた例があり, ♀は幼虫形。

ホソマメムシ科 Thorictidae : *Thorictodes*, *Thorictus*. 1-2mm. *Thorictodes heydeni* は米穀に発生, 海外では油性種子・落花生に多いという。 *Thorictus* も穀類から発見された例がある。

• ナガシンクイムシ主科 Bostrychoidea 附節 5-5-5, 第1節はふつう短い。

ナガシンクイムシ科 Bostrychidae : *Rhizopertha*, *Dinoderus*, *Sinoxylon*, *Heterobostrychus*. (2-15mm)

Rhizopertha dominica (2-3mm) は貯穀の害虫として知られ, *Dinoderus minutus* は竹など乾材につくが貯穀にも見られる。 *D. japonicus* は竹材に円穴をあける。 *Heterobostrychus hamatipennis* は材に穴をあける。

ヒラタキクイムシ科 Lyctidae : *Lyctus*, *Lyctoxylon*, *Minthea*.

Lyctus brunneus (2-8mm) はラワン材の害虫で種々の材, 家具類を加害し, *L. linearis* もナラなどの乾材・家具を害する。 *L. sinensis*, *L. africanus* は生薬中から発見された記録がある。 *Lyctoxylon dentatum* (2mm) は竹材・竹製品を害し, *Minthea rugicollis* も竹材につき, また種々の材も加害する。

シバンムシ科 Anobiidae : *Anobium*, *Ernobius*, *Oligomerus*, *Priobium*, *Nicobium*, *Gastrallus*,

Stegobium, *Lasioderma* など。(2-8 mm)

Ptilinus pectinicornis, *P. cercidiphylli*, *Nicobium hirtum* は古材・建材を加害する。*Ptilineurus marmoratus* (2-5 mm) は畳表に穴をあけ、テツクスなどに大害を与えたことがある。*Gastrallus immarginatus* (2-3 mm) と *Falsogastrallus sauteri* (2 mm) は古書の害虫で後者はベニヤ・段ボールについての例がある。*Nicobiun hirtum* も古書に加害することがある。*Stegobium paniceum* (2-3 mm) は生薬の大害虫で乾燥食品・植物標本をも食害し、*Lasioderma serricorne* (2-3 mm) も葉煙草・乾燥植物質・動植物標本に加害し、鯉節についての例もある。*Ernobius mollis* などとも貯蔵物から発見された例がある。

ヒョウホンムシ科 Ptinidae : *Ptinus*, *Pseudeurostus*, *Gibbium*. (2-5 mm)

Ptinus fur, *japonicus*, *clavipes* などは貯穀を害することが知られる。*Pseudeurostus hilleri*, *Gibbium aequinoctiale* は屋内に見られ後者は標本に加害することがある。*G. psyllodes* はヨーロッパで貯穀から知られている。*Niptus hololeucus* は葉タバコの害虫として海外で著名。

カッコウムシ主科 Cleroidea, 跗節 5-5-5

コクヌスト科 Trogossitidae : *Tenebroides*, *Lophocateres* (ホソチビコクヌスト科 Lophocateridae またはマルコクヌスト科 Peltidae) に入ることがある。

T. mauritanicus (6-10mm) は貯穀の害虫として知られるが食肉性もある。*L. pusillus* (3 mm) も貯穀に見いだされる。

カッコウムシ科 Cleridae : *Tilloidea*, *Tillus*°, *Platytenerus*°, *Opilo*°, *Tarsostenus*°, *Thaneroclerus*, *Corynetes*, *Necrobia* など。(3-12mm)

終の3属は(5 mm前後)は貯蔵食品に見られる。

ツツシンクイ主科 Lymexyloidea

ツツシンクイ科 Lymexylonidae : *Lymexylon*, *Melittomma*. (6-25mm)

・ヒラタムシ主科 Cucujoidea—球角類 Clavicornia

ケシクスイムシ科 Nitidulidae : *Carpophilus*, *Urophorus*, *Haptoncus*, *Epuraea*, *Nitidula*, *Omosita*. (2-4 mm)

Carpophilus hemipterus, *C. delkeskampii* は発酵～貯蔵食品の害虫, *C. pilosellus*, *C. dimidiatus* は貯穀の害虫, *C. mutilatus*, *C. freemani* も時に貯穀を害し発酵物に集まる。*Urophorus humeralis* はトウモロコシ, 果実などを害する。*Haptoncus luteolus*, *H. ocularis* も果実などに集まる。*Nitidula carnaria* は貯蔵肉類を害するという。

ネスウムシ科 Rhizophagidae : *Monotoma*°, *Mimemodes*. (1.5-5 mm)。

ヒラタムシ科 Cucujidae : *Cryptolestes*, *Laemophloeus*. (1.5-5 mm)。

Cryptolestes psillus, *C. turcicus*, *C. psilloides*, *C. ferrugineus* が貯穀に発見される。

ホソヒラタムシ科 Silvanidae : *Cryptamorpha*, *Monanus*, *Ahasverus*, *Oryzaeophilus*, *Psammoeocus*°. (1.5-5 mm)

Cryptamorpha desjardinsi (4 mm) は甘蔗・バナナなどにいる。*Monanus concinnulus* (2 mm) は暖地の醸造所などの屋内に見られる。*Oryzaeophilus surinamensis* (2-3 mm) は貯穀の害虫として知られ, *O. mercator* は油脂を含む豆類などの貯蔵食品に多い。*Ahasverus advena* (2 mm) も貯穀に発見される。

ヒメハナムシ科 Phalacridae : *Phalacrus*, *Heterolitus*. (1.5-3 mm)

クスイムシ科 Cryptophagidae : *Henoticus*°, *Cryptophagus*°, *Atomaria*°, *Curelius*°. (2-3 mm)

Cryptophagus の数種, *acutangulus*, *cellaris*, *dentatus*, *lewisi*, *dilutus* などは貯穀や貯蔵食品などから記録されており, *Henoticus californicus* も海外で干果, ジャム, パンなどから記録されている。

コメツキモドキ科 Languriidae : *Pharaxonotha* (次の科に入れることもある), *Cryptophilus*. (2-4 mm)

P. kirschi (4 mm) は貯穀の虫として知られ, *C. propinguus* も貯穀に見出だされている。

オオキノコムシ科 Erotylidae : *Dacne*. (3-5 mm)

Dacne japonica はシイタケを食害, 干椎茸にも

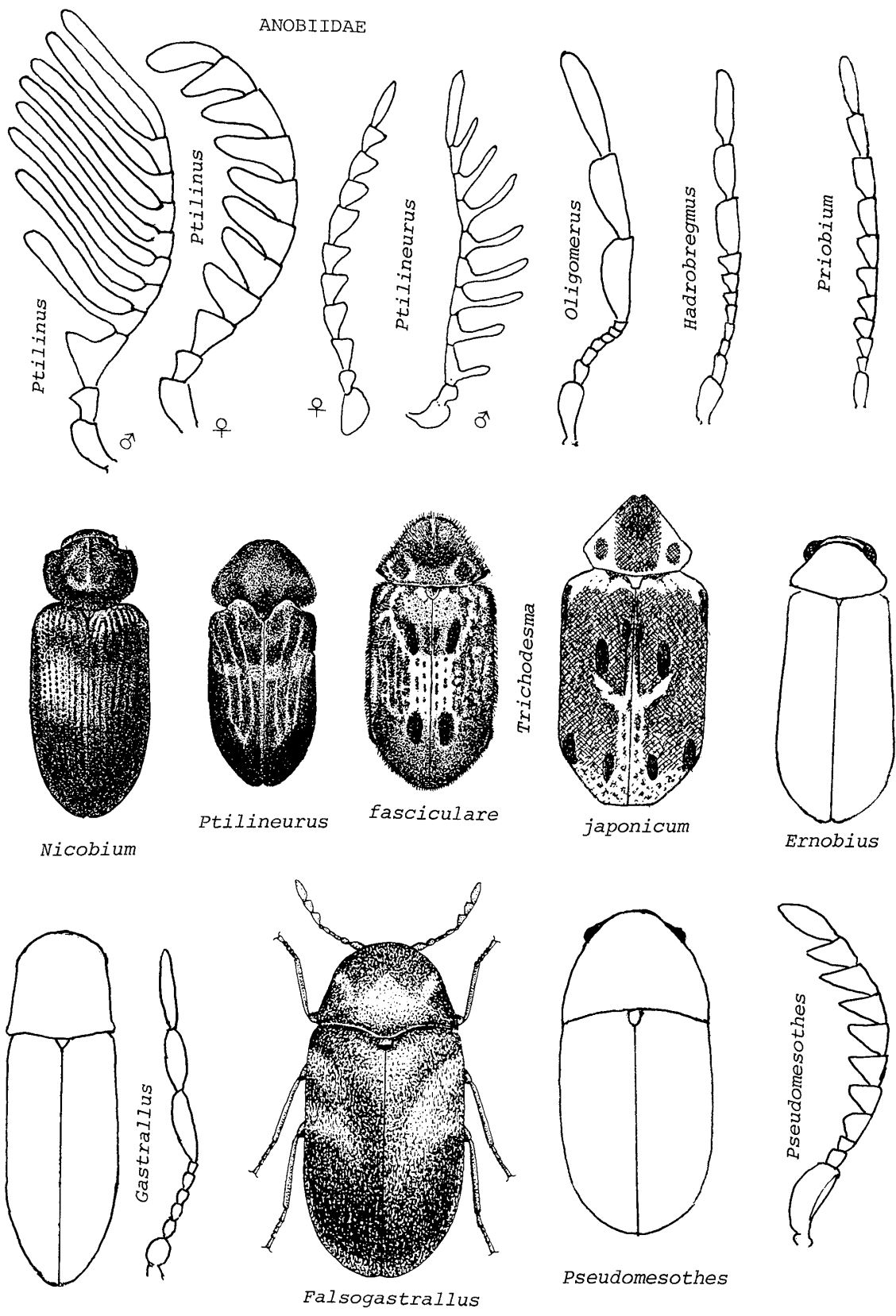


図 8

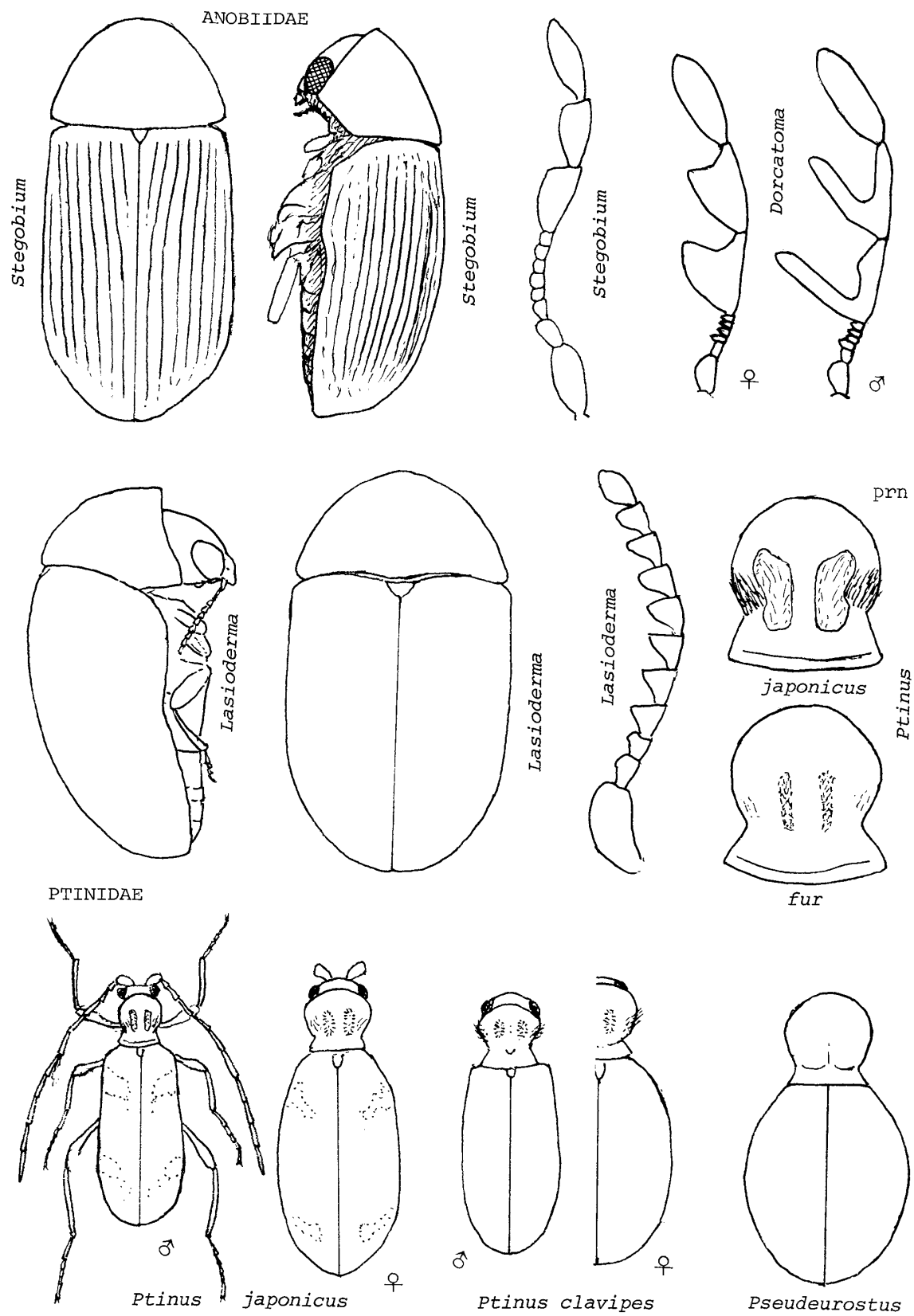


図 9

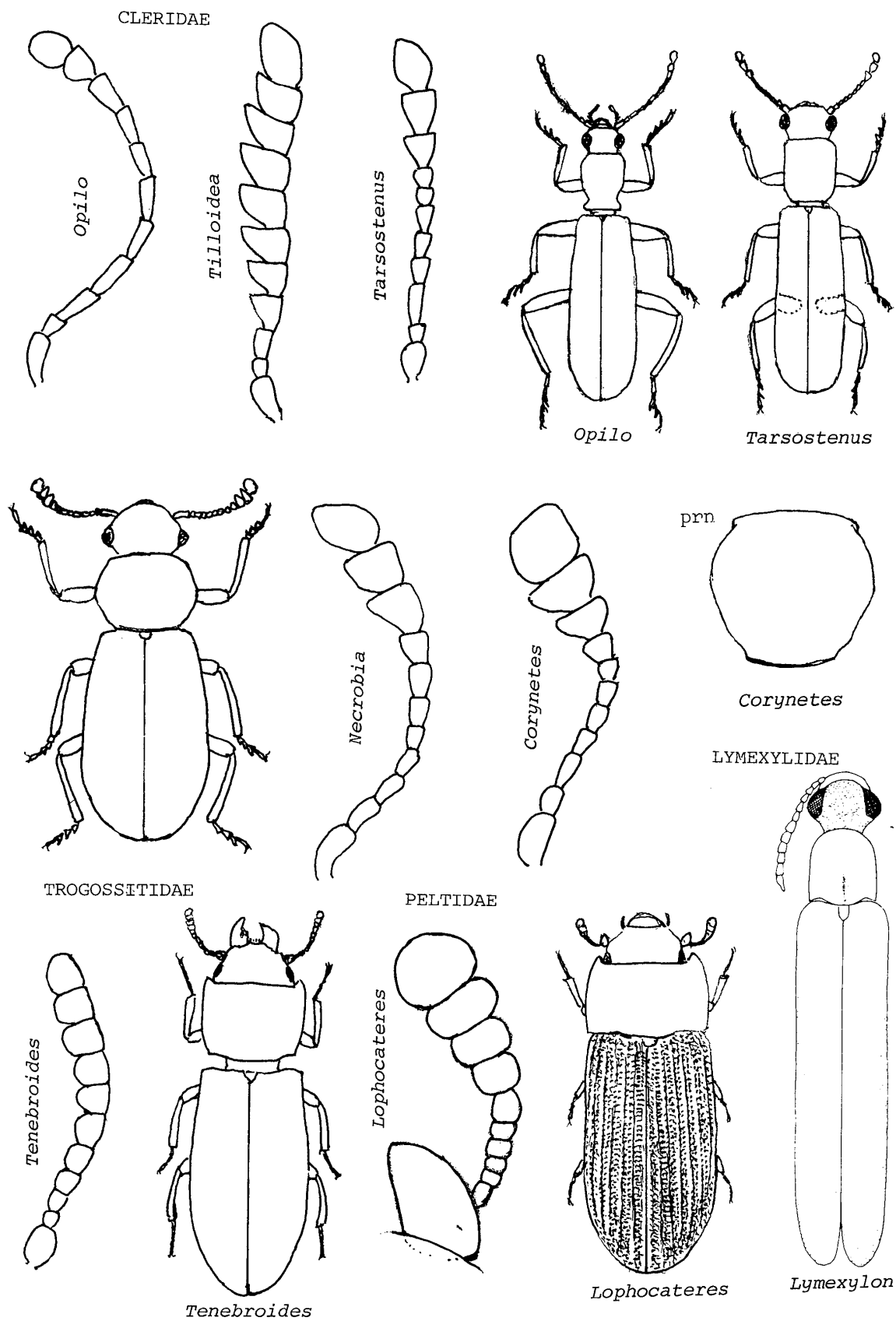


図10

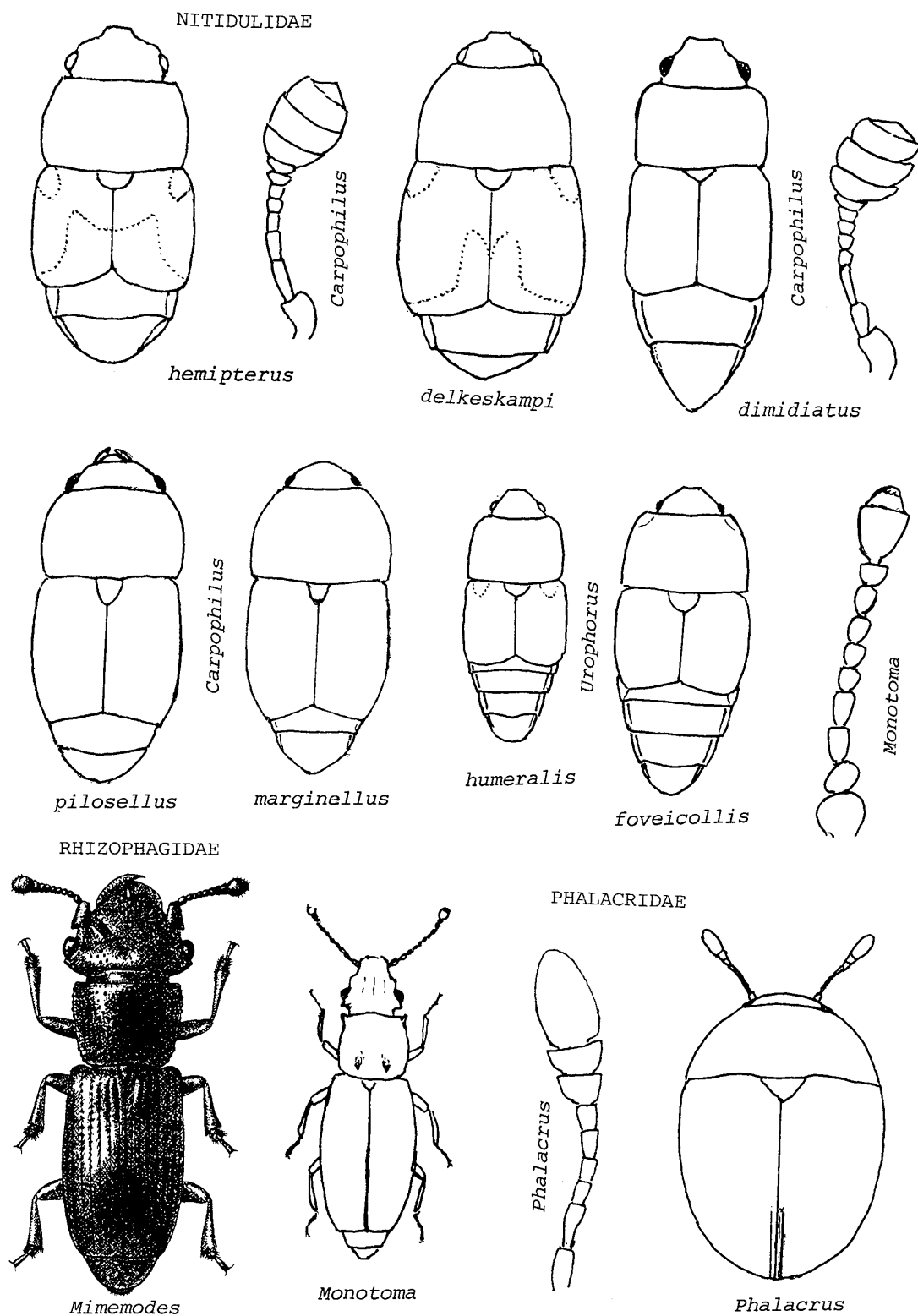


図11

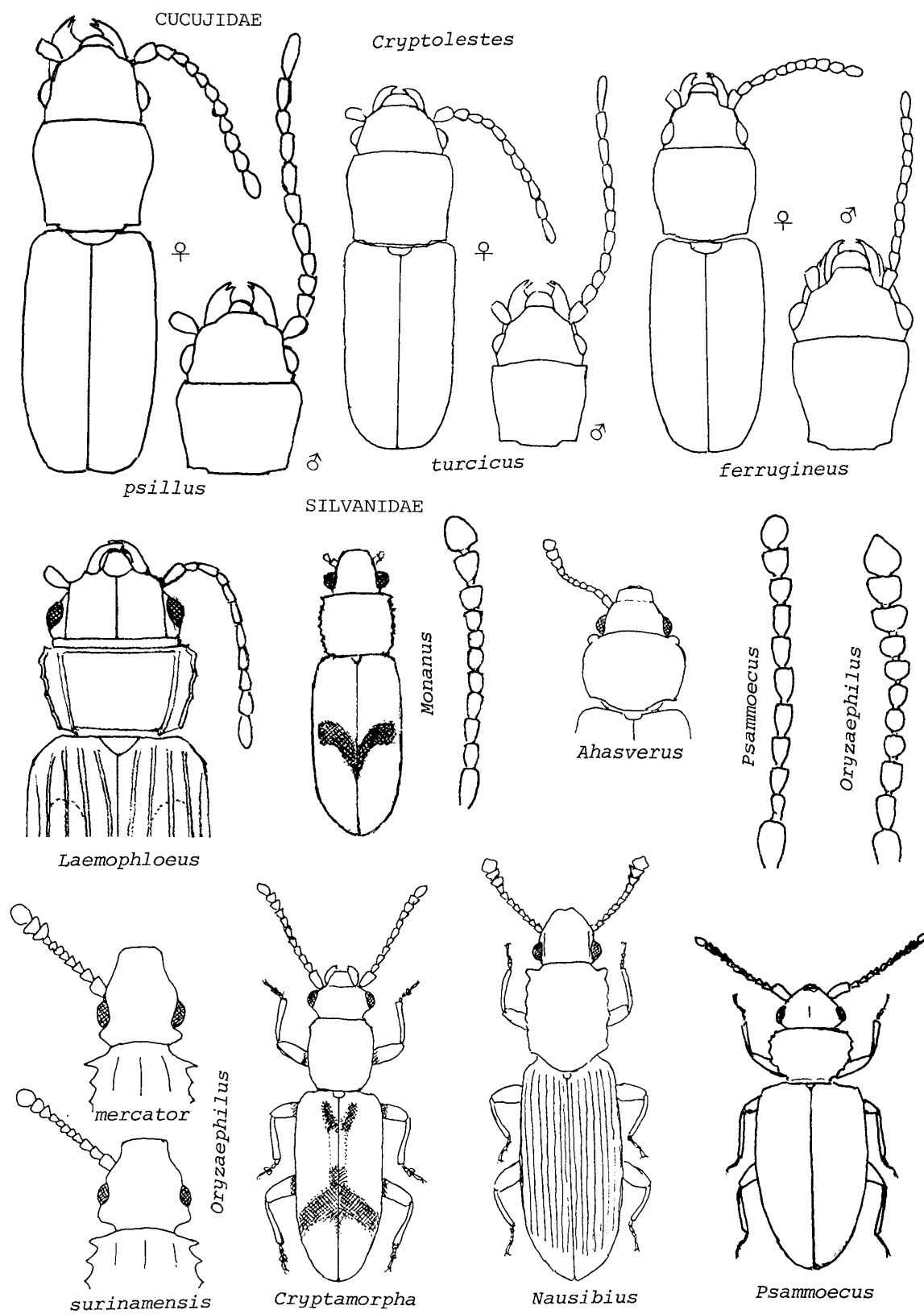


図12

いることがある。

カクホソカタムシ科 Cerylonidae : *Murmi-*
dus, *Euxestus*. (1-2 mm)

M. ovalis 貯穀, 種子, 干果など貯蔵食品から
発見される。*E. parki* も貯穀から発見されている。

ミジンムシ科 Corylophidae : *Sericoderus*, *Par-*
mulus, *Arthrolips*. (1-2 mm)

Sericoderus lateralis 乾いた種子などから発見さ
れる。

テントウムシ科 Coccinellidae : *Coccinella*,
Harmonia, *Propylea* など。(1.5-10mm)

テントウダマシ科 Endomychidae : *Mycetaea*,
Ancylopus. (1.5-5 mm)

Mycetaea hirta は海外で貯穀などから発見され
る。

ホソヒメマキムシ科 Merophysiidae : *Holo-*
paramecus. (1-2 mm)

H. ragusae, *H. ellipticus*, *H. depressus*, *H. sing-*
ularis が貯穀や醸造所などで発見されている。

ヒメマキムシ科 Lathridiidae : *Lathridius*,
Stephostethus, *Dienerella*, *Cartodere*, *Aridius*, *Corti-*
caria, *Corticaria*, *Migneauxia*. (1-2 mm)

上記諸属の種は屋内：貯穀・貯蔵庫・醸造場な
どから発見され、また湿めった場所に発生する。
この類については本誌に田中和夫(1986)の詳し
い解説がある。

・ヒラタムシ主科 Cucujoidea—異節類 Heter-
omera. 跗節 5-5-4, 一部例外がある。

ホソカタムシ科 Colydiidae : *Colobicus*, *Agle-*
nus. 跗節は 4-4-4, (3-5 mm)

Colobicus parilis は海外で果実から発見される。

コキノコムシ科 Mycetophagidae : *Typhaea*,
Mycetophagus, *Litargus*. 跗節は ♂ 3-4-4, ♀ 4-
4-4。(2-4 mm)

T. stercorea, *L. antennatus* は穀粉から発見され,
M. hillarianus なども湿めった穀粉から見つかる
ことがある。海外では *M. quadriguttatus* が貯穀に
いる。

ツツキノコムシ科 Cisidae : *Xylographus*. 跗
節 4-4-4。(1-3 mm)

X. scheerpeltzi はツガタケ類を食害するが、屋

内で発見された例がある。

ナガクチキムシ科 Melandryidae : *Phloeotrya*,
Serropalpus. (8-20mm)

ハナノミ科 Mordellidae : *Higehananomia*, *Gli-*
postena, *Glipostenoda*, *Mordellistenoda*. (2-16mm)

オオハナノミ科 Rhipiphoridae : *Pelecoto-*
moides, *Macrosiagon*. (4-12mm)

クビナガムシ科 Cephaloidae : *Scotodes*. (10mm)

カミキリモドキ科 Oedemeridae : *Nacerdes*,
Xanthochroa, *Eobia*, *Oncomerella*. (6-20mm)

Xanthochroa atriceps, *Eobia ogasawarensis* など
は灯火に集まり人の皮膚に水腫をつくらせる。

アカハネムシ科 Pyrochroidae : *Dendroides*,
Pseudodendroides. (10-20mm)

アリモドキ科 Anthicidae : *Notoxus*, *Anthicus*,
Mecynotarsus. (2-6 mm)

Anthicus floralis は時に貯穀から発見される。

ツチハンミョウ科 Meloidae : *Zonitis*. (9-
20mm)

ハムシダマシ科 Lagriidae : *Lagria*, *Luprops*.
(6-10mm)

クチキムシ科 Alleculidae : *Allecula*, *Bor-*
boresthes, *Pseudocistela*. (5-15mm)

ゴミムシダマシ科 Tenebrionidae : *Blaps*,
Alphitophagus, *Palembus*, *Gnathocerus*, *Latheticus*,
Tribolium, *Palorus*, *Alphitobius*, *Tenebrio*, *Neatus*,
Menepphilus, *Microcrypticus*, *Uloma*, *Tarpela*,
Plesiophthalmus, *Elixota*.

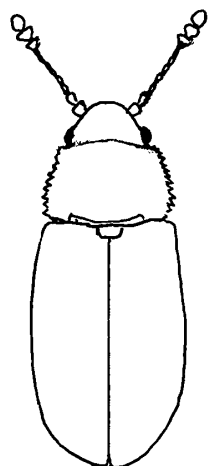
最後の4属を除きすべて貯蔵食品や貯穀の害虫
として知られる種(2-18mm)を含む。ただ
Blaps japonensis (20mm前後)は古い家屋の床下や
倉庫などに見られ, *Alphitophagus bifasciatus* (2.3-
3 mm)は鶏舎に多いという。

・ハムシ主科 Chrysomeloidae 跗節は偽4節
(第4節短小)

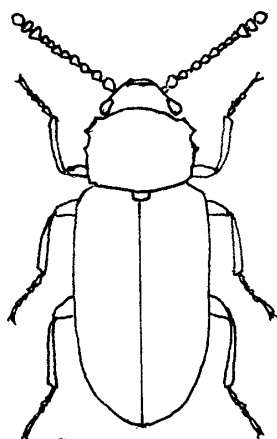
カミキリムシ科 Cerambycidae : *Macrotoma*,
Eurypoda, *Megopis*, *Prionus*, *Cephalallus*, *Distenia*,
Xystrocera, *Nortia*, *Trichoferus*, *Ceresium*, *Mecynip-*
pus, *Acalolepta*, *Acanthocinus* など多数。

Stromatium longicorne (20mm前後)は建材の大
害虫, *Palaeocallidium rufipenne* (10-17mm)は杉

CRYPTOPHAGIDAE

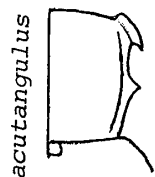


Henoticus

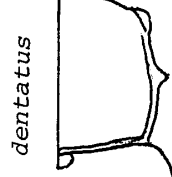


Cryptophagus

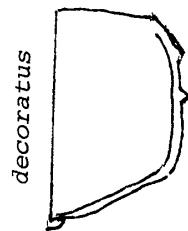
Cryptophagus



acutangulus

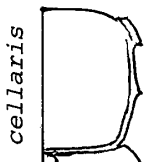


dentatus

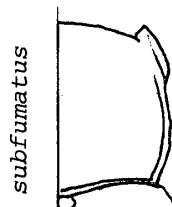


decoratus

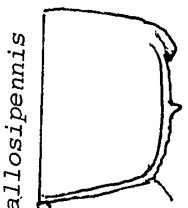
prn



cellarius



subfumatus



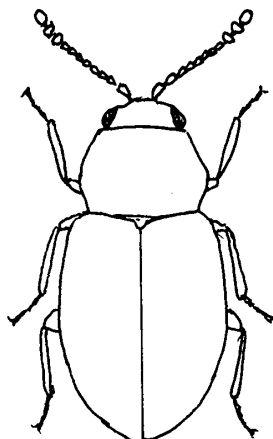
callosipennis



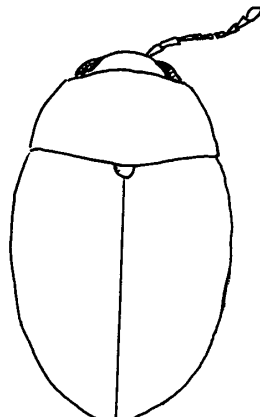
Cryptophagus



Atomaria

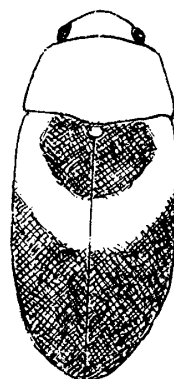


Atomaria



Curelius

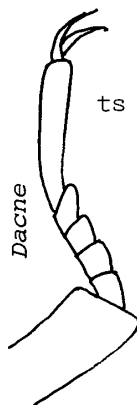
EROTYLIDAE



Dacne

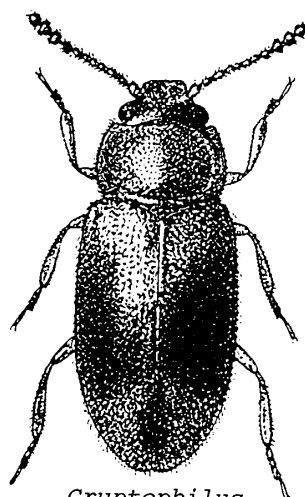


Dacne



Dacne

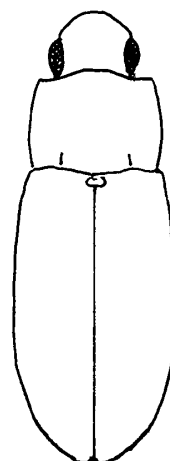
ts



Cryptophilus



Cryptophilus



Pharaxonotha

図13

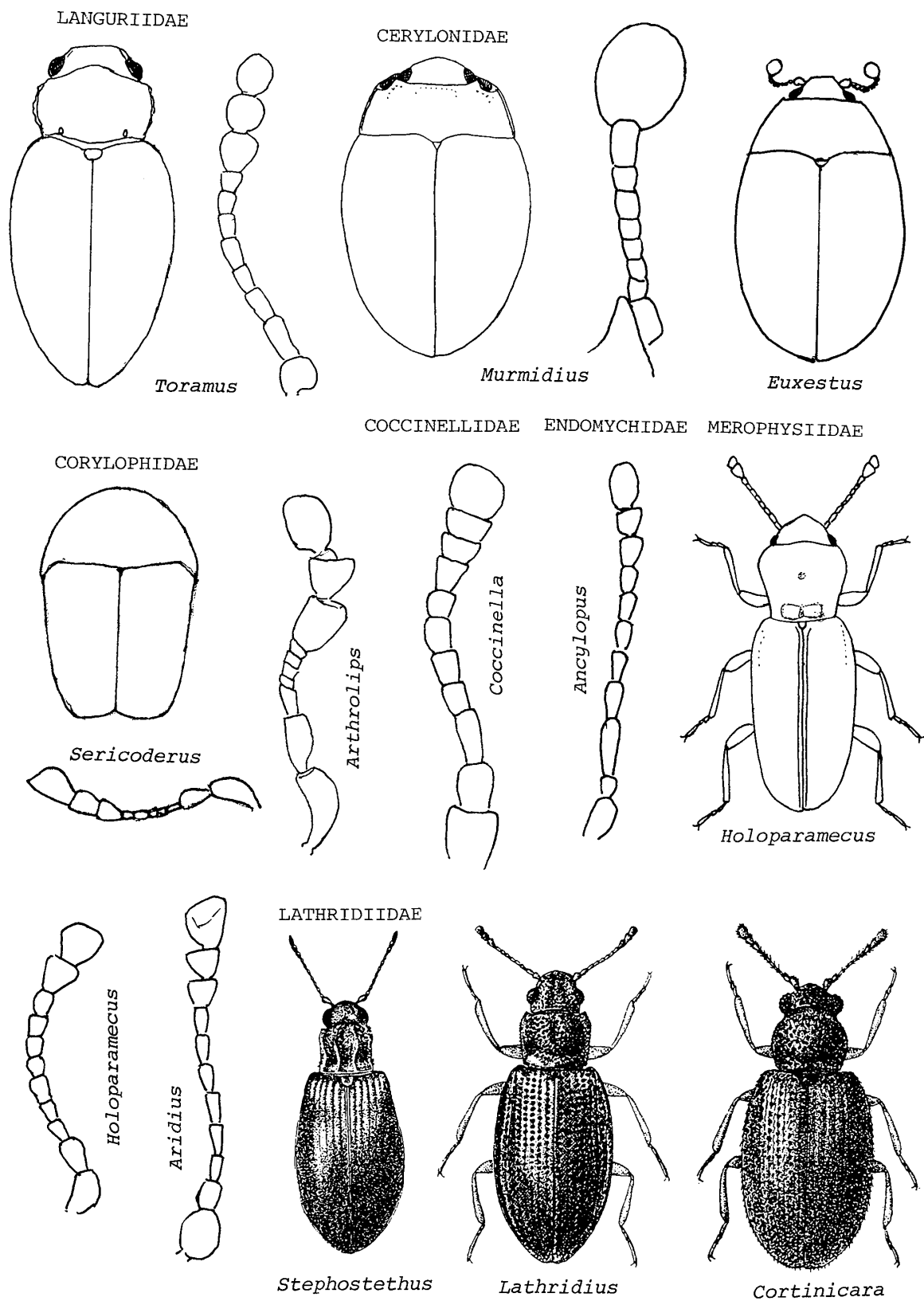
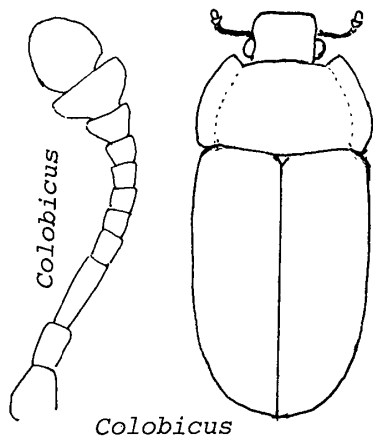
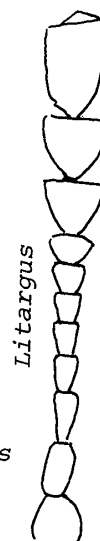
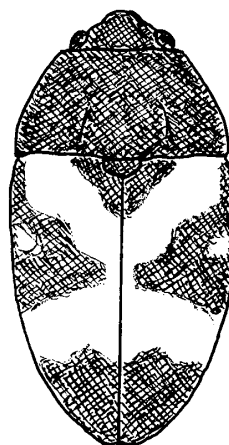
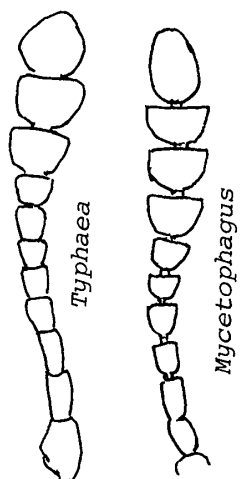


図14

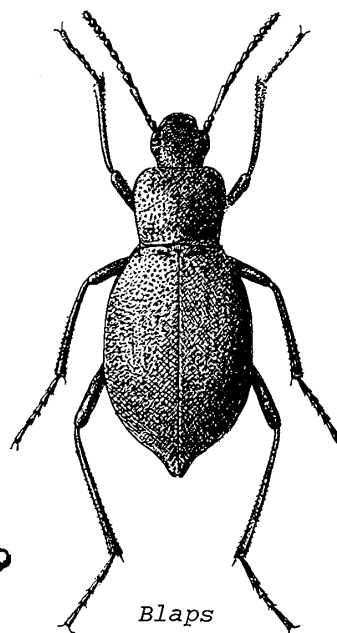
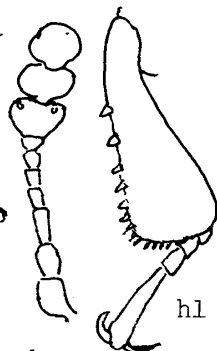
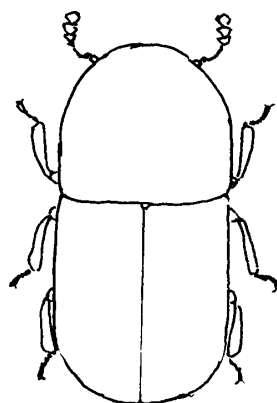
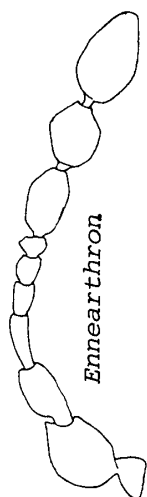
COLYDIIDAE



MYCETOPHAGIDAE



CISIDAE



TENEBRIONIDAE

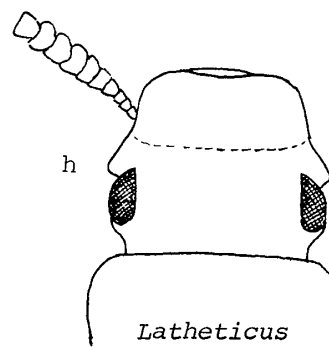
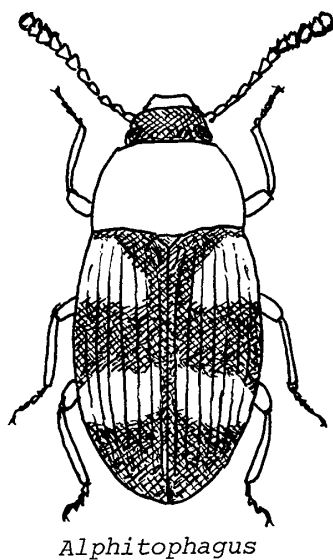
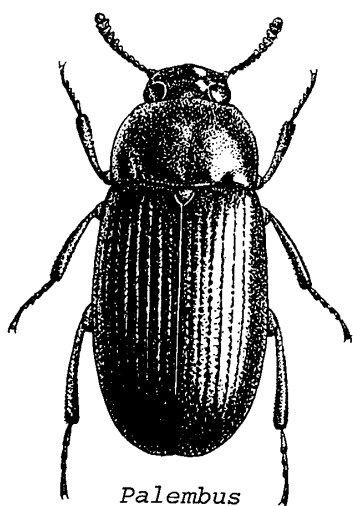


図15

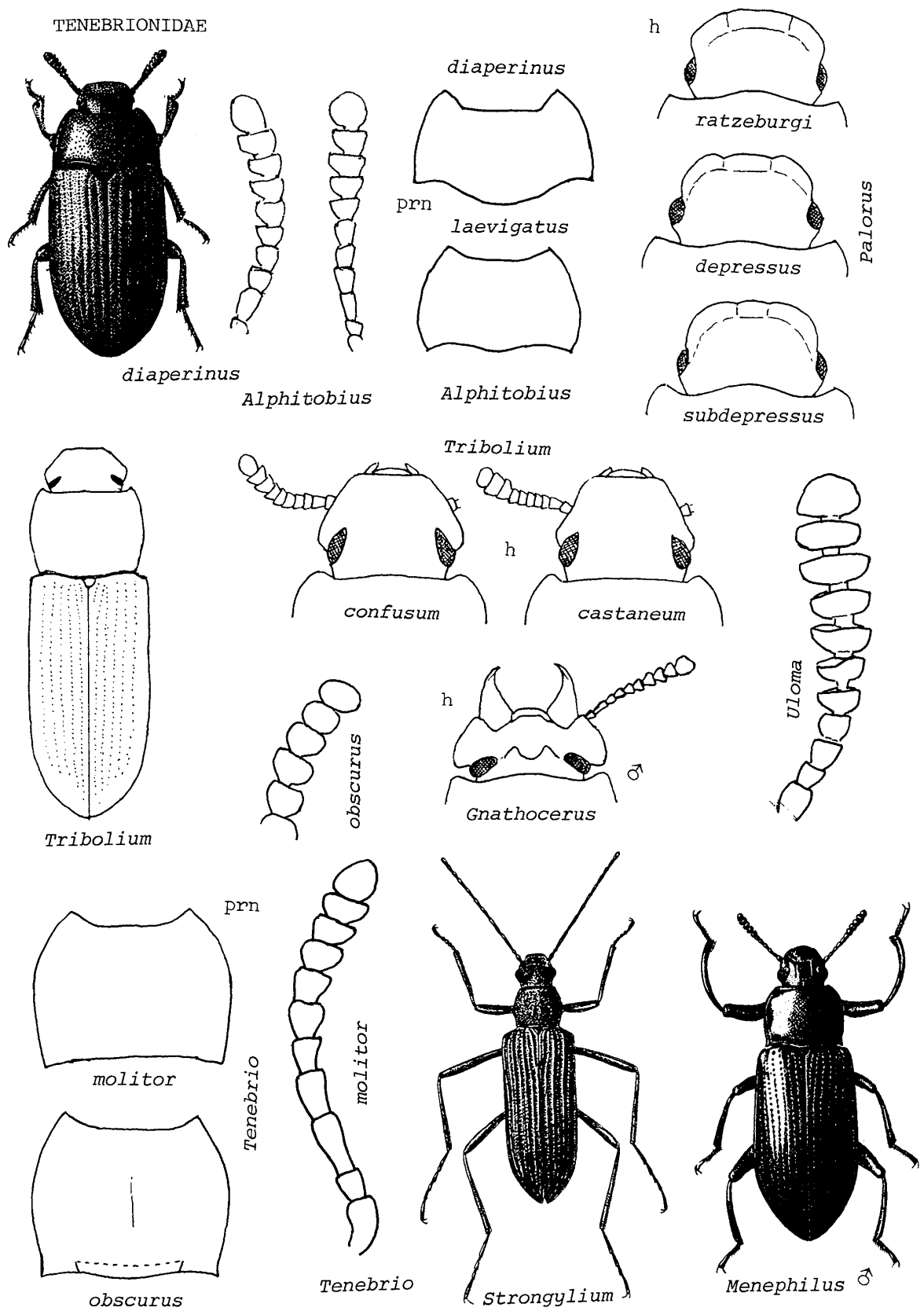


図16

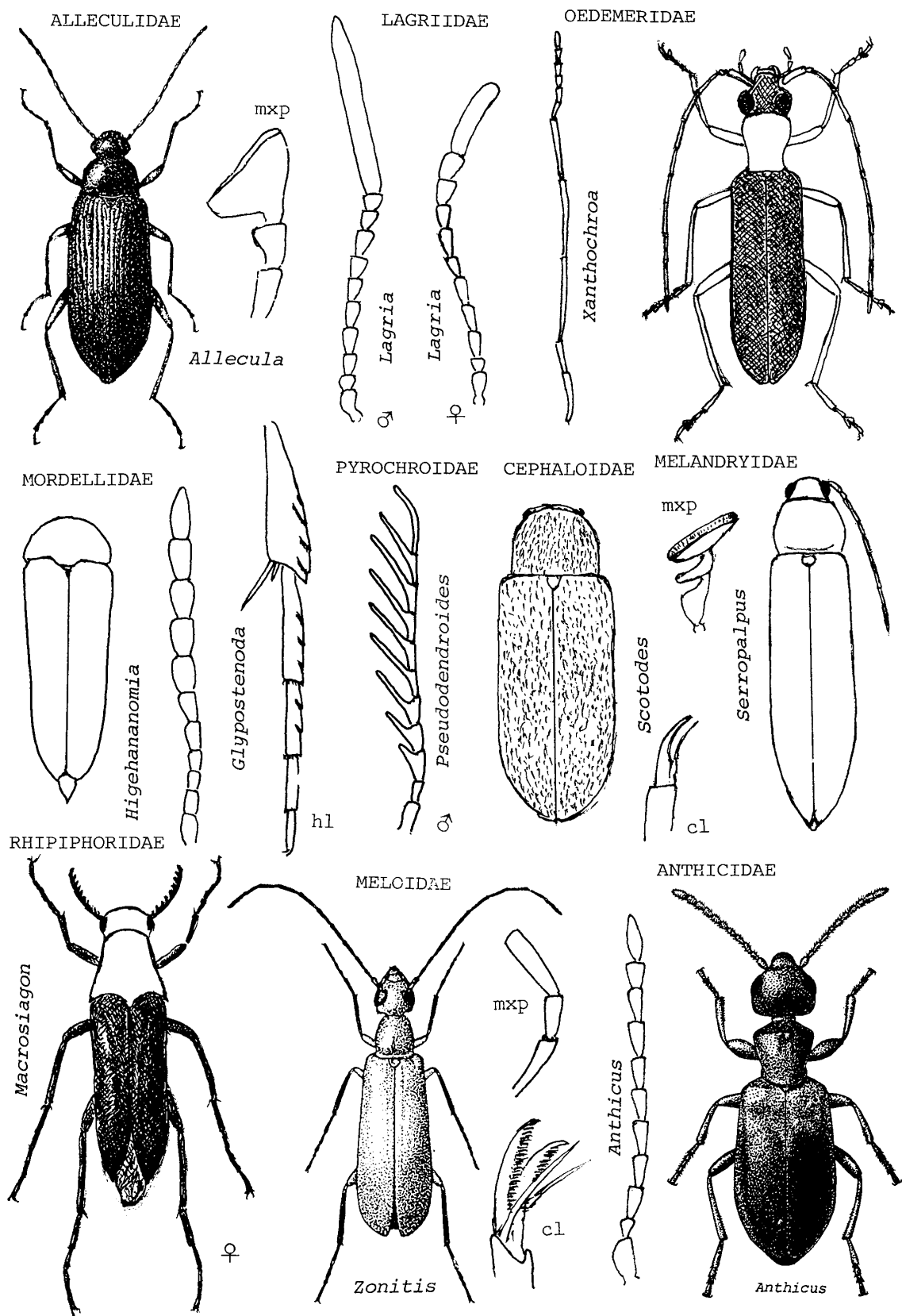
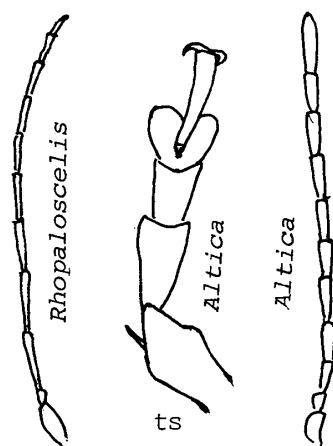
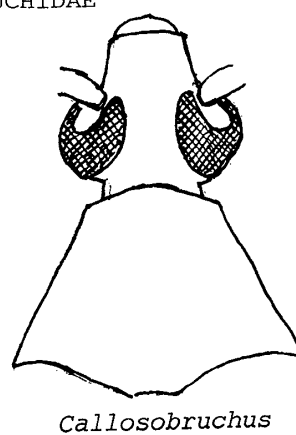
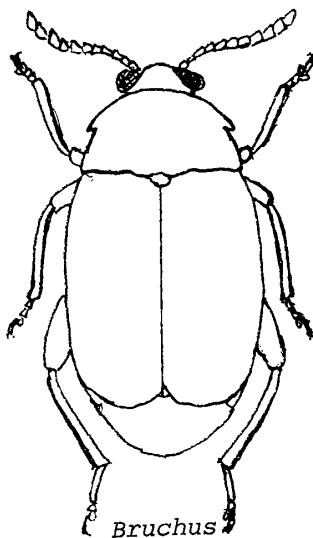


図17

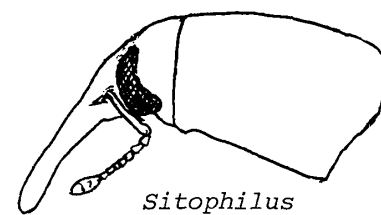
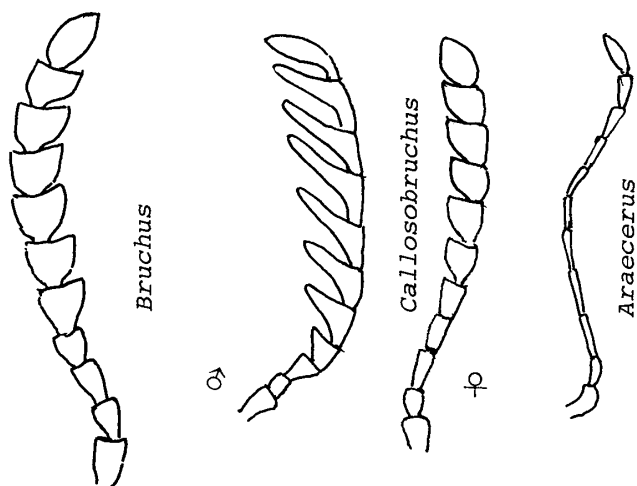
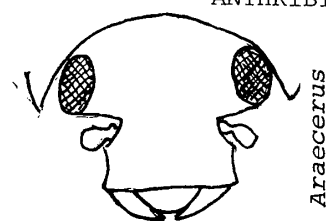
CERAMBYCIDAE CHRYSOMELIDAE



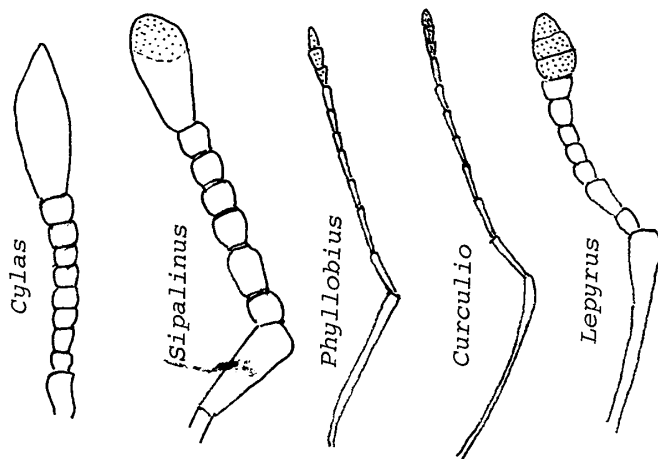
BRUCHIDAE



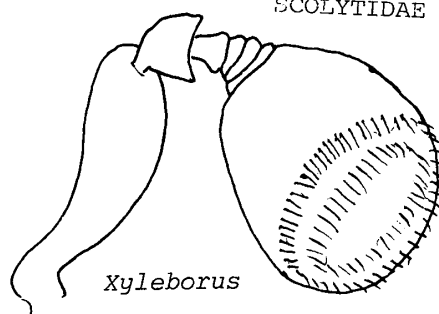
ANTHRIBIDAE



BRENTHIDAE CURCULIONIDAE RHYNCOPHORIDAE



SCOLYTIDAE



PLATYPODIDAE

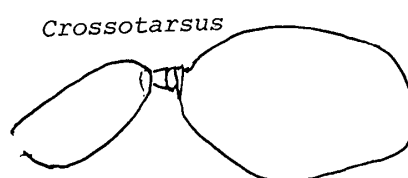


図18

材に集まり食害する。*Chlorophorus annularis* (10-15mm) は竹材の害虫。*Tetropium castaneum* (10-18mm) も針葉樹を害し屋内で発生した例がある。

マメゾウムシ科 Bruchidae : *Callosobruchus*, *Bruchus*, *Acanthoscelides*, *Zabrotes*, *Pachymerus*. (2-8 mm)

上記属はすべて豆類の害虫を含み、終2属は日本に定着していない。

ハムシ科 Chrysomelidae : *Lema*, *Lypesthes*, *Basilepta*, *Pagria*, *Monolepta*, *Altica*, *Chaetocnema*, *Sphaeroderma* など。(2-10mm)

・ゾウムシ主科 Curculionoidea 跗節は偽4節(第4節短小)

ヒゲナガゾウムシ科 Anthribidae : *Exechesops*, *Araecerus*.

Exechesops leucopis (8-9 mm) はエゴの実に産卵し、幼虫は釣餌とされる。*Araecerus fasciculatus* (2.5-4 mm) は貯穀、コーヒー、ニンニク、綿実などの害虫として知られる。

ミツギリゾウムシ科 Brentidae : *Cylas*.

Cylas formicarius (6.5mm) は甘藷の大害虫で貯蔵したイモにも発見される。

ゾウムシ科 Curculionidae : *Phyllobius*, *Myllocerus*, *Mecistocerus*, *Curculio*, *Shirahoshizo*, *Rhadinopus*, *Cryptorhynchus*.

オサゾウムシ科 Rhynchophoridae : *Dryophthorus*, *Sipalinus*, *Sitophilus*.

Dryophthorus japonicus (3 mm) はスギなどの樹

皮下・腐朽部を、*D. sculpturatus* (3.5mm) はマツ類の枯材を食害し、時に建物の土台などに大害を与える。*Sipalinus gigas* (12-30mm) はスギ材など内部を害することがある。*Sitophilus oryzae*, *S. zeamais*, *S. granarius* は貯穀の大害虫として著名であるが最後の種は日本に定着していない。*Diocalandra sasa* (4-5 mm) はスダレ・傘などの竹を害するといひ、*D. kamiyai*, *D. elongata* も枯れた竹を害する。*Myocalandra exarata* (4-6 mm) も甘蔗のほか竹も害し、*Polytes mellerborgi* (4 mm) はバナナの害虫。この他、*Rhabdoscelus* (9-15mm) は甘蔗など、*Rhynchophorus* はヤシ類、*Odoiporus*, *Cosmopolites* はバナナの害虫として知られる。

クイムシ科 Scolytidae : *Tomicus* (= *Blastophagus*) , *Xyleborus*, *Scolytoplatus*. (1-7 mm)

海外では針葉樹の種子などを害する *Coccotrypes*, コーヒーを害する *Stephanoderes* などが知られている。

ナガクイムシ科 Platypodidae : *Crossotarsus*, *Platypus* (3-6 mm)

この類も灯火にくると思うが、はっきりしない。

以上で家屋内に見られる甲虫を一通りならべてみたが、この他の科のものも夜間あかりに飛んでくるものなどもあると思うので一応の目安と考えていただきたい。今後海外からの輸入の増加と共に貯蔵食品や家具・建材などの甲虫もさらに増すことが予想される。